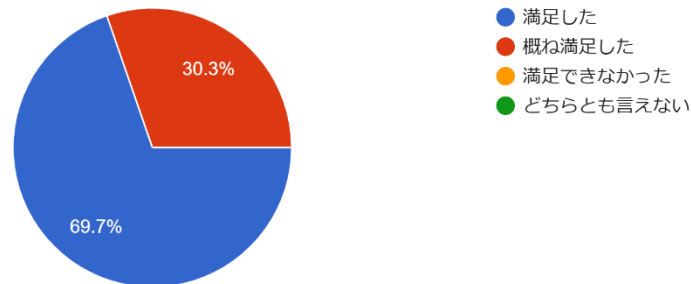


令和6年度 一般社団法人山梨県介護支援専門員協会
峡中支部 第2回 研修会 アンケート結果

1. 今回の研修内容について
33件の回答



1. 選択理由

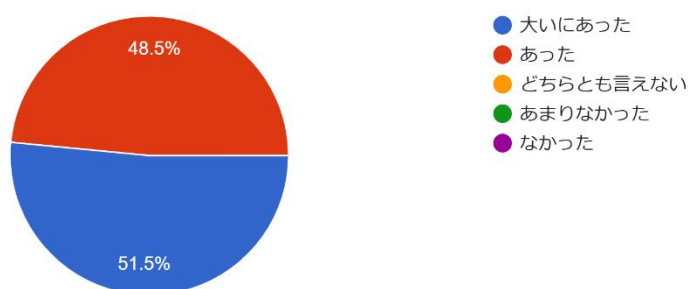
- ・対人援助職として、AI も上手く使って支援に繋げるようにしたいと思いました
- ・AI に興味があったのでお話しが聞けてよかったです。
- ・誤嚥性肺炎の時にアセスメントで何を聞いたらいいかが理解できた
- ・グループで、意見を聞きあえた事
- ・A I の活用を理解し、身近なものにしていきたいと思いました。
- ・AI についてしることができた
- ・分かりやすかった
- ・学びたかったことがわかりやすかった
- ・適切なケアマネジメント手法や AI の活用方法などを学ぶことができ、今後の参考にしたい。
- ・適切なケアマネジメント手法の理解が深まった。
- ・主マネ研修と同じ事例で、深める事が出来て、良かった
- ・AI と適切なケアマネジメントを活用し、よりよい支援につなげていきたいです。
- ・AI やケアマネジメント手法について勉強することができた
- ・AI の業務への活かし方がわかり利用してみたいと思う
- ・A I が自身のマネジメントに足りていない視点、気づきを示してくれる手段であることを知りました。
- ・初めて AI の活用についての研修を受けた。自分で本人の事をしっかり、アセスメントすることが一番大事だが、AI を活用し自分に足りていない部分が明確になると、より良い本人にとってのプランが作成できると思った。
- ・経験だけでなく、必要なツールを使いながら AI を活用することで、アセスメント

が広がり支援に繋がられる学びが得られました。

- ・内容が充実していました。
- ・”AI の活用と自分の情報収集で得たものを合わせたの支援方法
- ・適切なケアマネジメント方法の活用について知る事ができた”
- ・AIによって、いままで気づけなかった支援のポイントに気づくことができたり、更に深めることができることを学べた。今後時代背景により、価値観やニーズが違ってくことを考慮すると、良いサポートアイテムだと思う。
- ・驚見会長のお話は解るように解説して下さるので楽しいです。すみ会長が AI をも分析していたと敬服いたしました。
- ・会長のご講義がとても興味深く、実践に向けて考える機会となった事、グループワークにおいては、それぞれ利用者様の捉え方や優先課題の考え方が違い、これが個別性に繋がる AI だけでは作れないプランになると実感できたから。
- ・”他の意見を参考に出来る。
- ・文言を参考に出来る。”
- ・すごく前に受けた AI の研修より、進化していてビックリしました。自分一人の考えだと偏ってしまったり、漏れもあると思うので、補う(確認)するためには AI の活用はとても良いと思った。滴ケアは、情報収集の際には意識して幅広くご本人をとらえる意味でも活用していきたいと思った。こういったツールを上手に使う事で、分析の偏りが減り『丸く』出来ると良いと思うし、その分析作業の苦手意識が減り、自信を持って好きな事になれば良いと思いました。

2. 業務に活かせそうな点がありましたか。

33 件の回答



2. 選択理由

- ・どのように活用できるか実際に分かった
- ・”適切なケアマネジメント手法の使い方
- ・まず、自分の口の中を見る利用者様の口の中を見ること”
- ・アセスメント

- ・尊厳をまもり、本人の言葉に耳をかたむけていきたい
- ・プラン作りに活かせればと思います。
- ・ワイズマンなので活用してみたいとは思った
- ・その人らしさを考えた支援の考え方。
- ・指導にて
- ・本人の尊厳や本人らしさを大切にしたケアを行うことの大切さを学びました。
- ・ソフトにあるAIを試してみる
- ・アセスメントに必要な聞き取りがわかるので利用してみたい
- ・AIによる視点
- ・適切なケアマネジメント手法一覧を活用しながら本人、家族の強みがいかなせるようなケアプランを作りたいです。
- ・”一歩踏み込んだ、アセスメントができるように心がけて行きたい。本人、家族のストレングスをしっかり把握して、より良い支援をしたい。”
- ・適切なケアマネジメントの活用
- ・AI活用でのアセスメントの視点です。
- ・適切なケアマネジメント手法を活用して支援の方向性を検討したい
- ・いままで以上に深掘りして、必要な支援のポイントを拾い上げ、更に深めたアセスメントを行っていきたい。
- ・①口腔ケアは全身を守る大切な事。誤嚥性肺炎は繰り返す度に機能低下、薬剤に耐性が出来更に悪循環になるので噎せる変化に気付ける。プランに位置付けていく。疾患と基本ケア同時進行で。左麻痺、失語症のある利用者様が誤嚥性肺炎にならない様に②AIは状態像を分析して教えてくれるツール。
- ・AIアプリは要検討。適切なケアマネジメント手法の手引きは業務の要所で活用していきたい。
- ・得意 不得意があるので、不得意のところを自覚し、参考にしてなる。
- ・AIはすぐには活用できそうにないが、近隣のCMさんに見せてもらう、実際に認定調査情報の入力などをしてみて、どのような意見が出るのか見てみたいと思う。もしアプリが使えるようになったら、事例検討にも使ってみてみたいと思う。適ケアは、まずは新規かりアセスメントの際に照らし合わせてみたいと思います。

3. 本日の研修でわからない事、もっと聞きたい事などありますか。

- ・ALについてケアマネジメントをしていく上でのアドバイスをしてくれるのは、とてもありがたいと思いました。
- ・”学びが多かったです。ありがとうございました。”
- ・健康状態を維持するためには、お口のことがとても大切だと思うので、自分の言葉で本人や家族に伝えることができるように、また口腔に関する研修を受けていきたい。
- ・アルコール依存に特価した AI プラン判定ありますか？
- ・”81歳と云う年齢の方に、なんでも決めてきたからと、強みとしていいのか？はなはだ疑問におもいます。”

4. 今後、学びたい研修などご意見お聞かせください。

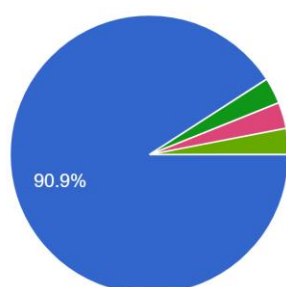
- ・長期目標、短期目標を考えるのがとても苦手です。研修で教えていただきたいです
- ・”相談援助技術に必要な研修。
- ・適切なケアマネジメント手法の研修。”
- ・”適切なケアマネジメントの手法について
- ・使い方を初めから知りたい”
- ・実際にAIを使っている事業所で、どのように事例検討をしているのか知りたい。
- ・アルコール依存 自己愛性パーソナル障害等研修をお願いします。
- ・経済的困窮者の課題整理と対策
- ・新しい情報、変更点などの伝達研修

5. 研修の開催時期・方法等、ご意見お聞かせください。

- ・開催時期はとても良かった
- ・実績前や年度末はできれば避けてもらいたい。
- ・給付管理が終わった10日過ぎで良いです。

6. 所属はどちらになりますか。

33件の回答



- 居宅介護支援事業所
- 包括支援センター（行政を含む）
- 小規模多機能型居宅
- 施設（老健／特養）
- 施設（福祉避難所）
- グループホーム
- 病院・医療機関
- 行政